

験)が必要である。この2年を無事修了するとRD取得のための、CDR(Commission of Dietetic Registration)の試験を受けることができる。証明書を持っていて、大学院に入学している学生は、4学期間の科目履修(5月に始まり、翌年の8月に修了、36時間と1200時間の監督された研修経験)を修了することでRD取得のためのCDRの受験資格が得られる。どちらのコースの学生も同等に論文コースと論文なしのコースとに分けられる。この研究論文を修了するには、より優れた研究結果と論文投稿のための十分な時間として更に2学期間の大学院在学が必要になる。監督された研修経験における一連の食事栄養コースのリストと必要単位数、ローテーションとその時間数は、付録に記載してある。

GSUでの栄養教育は、開業への教育を強化している。

GSUの大学院プログラムは、4年制、大学院レベルを問わず企業家ビジネスの促進のためのビジネス計画に優れている。学生は、臨床分野での能力開発の他にそれ以外での必要性を探求することを教えられる。学生の達成例として、CP学生のコホート研究では、大学の健康クリニックで学生への栄養相談のビジネス計画を開発したり、高齢者への包括的健康プランとしての地域の政府機関の高齢部局にビジネス計画を立案したりしている。類似したプログラムでは、ウォールマートの社員ウェルネスプログラムにおいて、契約しているフードサービス会社へ「Heart Healthy」と題した心臓疾患系のメニューを修正するよう提案、作成した学生もいる。

GSUは、学生への責任性の期待度は高く、それによりよい結果を得ている。

大学院での組込型プログラムを終了した

7人の学生のうち、6人はRD試験に合格し、1人はまだ試験を受けていない。雇用者は大学院生を大変歓迎しており、あるフロリダの腫瘍専門病院は5年の業務経験をもつRDを希望していたが、GSUのCP大学院生の履歴書とインタビュー後、栄養士業務経験のないGSU大学院生が雇用された例がある。他にもアトランタの子供病院でのローテーションを終了した学生が病院の胃腸科という広範囲の臨床経験を必要とする臨床業務に就職が決まった例もある。

GSU大学院生は、臨床や地域栄養の業務経験がなくても、就職先では高所得を得ている。

登録栄養士として目立った経験がないにも関わらず、GSUの大学院卒業生が高所得を得られるには多くの理由がある。おそらく最も受容される理由としては、卒業生の年齢が高く、22歳の新卒で人生経験が少なく、業務経験のない若い卒業生より人生経験があり、成熟していることであると考えられる。修士号を取得した専門家としての情熱と自信は、雇用者にすぐ伝わる。雇用者は、年を重ねて成熟した大学院卒業生に初級レベルの仕事は期待していないため、一般的に収入は高くなるのである。

GSUは、特に学生の応用能力や日本の都市での教育に生かすことができる。

GSUは、少なくとも2つの方法で日本の栄養専門職と重要な連携を組むことができる。1つめは、GSUは、4年制学生においても大学院生においても臨床栄養と地域栄養を強化した栄養士教育をすることができる。2つめは、GSUは、臨床、地域栄養の両方の分野において、すばらしい教育者になるための教授陣を教育することができる。

日本人学生でGSUでの臨床や地域栄養を学びたい学生は、GSUの4年制大学において最低2年在籍し、科学と他の必要科目を取得することができる。学生証明書は、GSU栄養学科において審査される。4年制大学のDPDコースを無事終了した学生はインターンシップを受けるか、もしくは大学院コースのCPを修了することでRD試験資格を得ることができる。

GSUは、海外留学生の受け入れ経験が豊富である。

現在GSU組込型プログラムにはインド、南アメリカ、クロアチア、レバノンから5人の留学生が在籍している。近年GSUには、韓国、中国、ベトナム、アフリカ各国、ヨーロッパ各国からの留学生が在籍していた。アトランタは、留学生や海外からの教授陣が安心して生活できるよう配慮している。アトランタは、日本人への住居、英語学習、アメリカでの生活に慣れるための積極的な活動をする日本の領事であると自負している。

GSUの教授の交換プログラムや教授の短期研究交換プログラムは、両者に利点となる。

GSUは、教授の交換プログラムなどを歓迎している。GSUは、アメリカの多くの大学でも羨望されている臨床栄養や地域栄養に優秀な教授陣を揃えている。GSUは、日本の教授陣に日本社会の必要性にあった保健栄養プログラムを作ることや、臨床や地域栄養の教育プログラムを開発するため、質の高い経験を提供することができる。GSUは、フードサービスと管理については、最小限で、適切な講義数と経験を提供している。GSUは、接遇プログラム、優秀な保健管理施設、臨床、地域プログラムへの統合管理に関する大学ビジネス界において

高い評価を得ている。これは、GSUや他のアメリカの大学に、継続的に必要なものである。

反対に、日本では優秀なフードサービスと接遇の教育が提供されている。フードサービスは、日本の栄養教育システムの強みでもあり日本のいくつかの大学がもつ潜在的な可能性はGSUとの相互に有益な関係に繋がると考える。

資料 Coordinated Program in Dietetics Georgia State University Atlanta, Georgia
ジョージア州立大学 (GSU) 栄養士 組込型プログラム

プログラムの使命

GSUにおける栄養士組込型プログラムの使命は、最適な栄養、保健、福祉の促進を通して公衆へのサービスができ、公衆サービスとリーダーシップを通してより大きい地域や専門家へ働きかけることのできる栄養専門家の育成である。

この使命は、GSUの使命と戦略的プラン、保健人間科学分科大学の使命と2008年のADAにおけるRDの専門家業務基準(Standards of Professional Performance)に基づいたものである。その内容を以下に列記する。

- RDは、顧客の要望と必要性に基づいて質の高いサービスを提供する。
- RDは、実務を強化するために研究を開始、参加、応用する。
- RDは、他の人と、効果的に知識やコミュニケーションを応用する。
- RDは、情報源を効率的かつ効果的に利用する。
- RDは、体系的にサービスの質の評価や評価結果に基づいた実践の改善を行う。
- RDは、生涯学習に従事する。

教科科目

CPの教科科目は、核となる保健科学コース、栄養学コース、監督された実務経験、最高の(業務)経験を含んでいる。プログラムの講義内容は、研究過程における経験と共に知識の蓄積を基本としたものである。監督された研修内容は、最低1200時間のSupervised Practice Experience, SPEであり、臨床栄養、フードサービス、地域栄養、コミュニケーションの分野で提供され、約120時間は個人の興味ある分野で

費やされる。3つのキャップストーン*¹の選択には、論文、プロジェクト、もしくは、ポートフォリオ*²がある。

DPD 証明書のない CP 学生のための教科課程で学生がポートフォリオをキャップストーン選択肢として選んだ場合

1年目
秋学期

コース番号とタイトル	単位数
NUTR 3700 医療生化学原理	3
NUTR 6002 監督された研修I(2)	2
HADM 3401 & HADM 3402 食物生産とサービス管理	3
HHS 6000 保健人間科学のための調査方法 (Research Methods for Health and Human Sciences)	3
NUTR 6105 栄養、文化とライフサイクル	3
HHS 8000 保健政策、実践、法律に影響している傾向 (Trends Affecting Health Policies, Practices, and Laws)	3

春学期

コース番号とタイトル	単位数
NUTR 3500 栄養と代謝	3
NUTR 6003 監督された研修II	2
NUTR 6150 食物科学	4
NUTR 6101 栄養研究法	3
HADM 3420 レストラン/フードサービスマネジメント	3

夏学期 (5月学期)

コース番号とタイトル	単位数
NUTR 6004 監督された研修III	2
NUTR 6005 監督された研修IV	2
NUTR 7200 臨床栄養療法 (MNT) I	3
MGS 組織における人材管理 3400	4

2年目
秋学期

コース番号とタイトル	単位時間
HHS 6400 公衆衛生サービスのためのスペイン語	3
NUTR 6104 上級標準栄養学 I	3
NUTR 6006 監督された研修 V	2
NUTR 選択教科	3
NUTR 6170 食品安全	3
NUTR 7250 臨床栄養療法 (MNT) II	3
NUTR 7990 ポートフォリオセミナー	1

春学期

コース番号とタイトル	単位数
NUTR 6102 栄養介入	3
NUTR 6106 上級標準栄養学 II	3
NUTR 7101 栄養問題 OR NUTR 7950 医療栄養療法の上級トピック	3
NUTR 6007 監督された研修 VI	2
NUTR 7990 ポートフォリオセミナー	1

夏学期

コース番号とタイトル	単位数
NUTR 6008 監督された研修 VII	2
NUTR 6009 監督された研修 VIII	2
NUTR 6010 監督された研修 IX	2
NUTR 7990 ポートフォリオセミナー	1

監督された研修経験 (SPE)

一般的に、一方所のローテーションで一人のプリセプターに一人の学生がつく。大学教授陣は監督や、常にプリセプターや学生の力になれるように援助する役割がある。プログラム終了のためのローテーションの数と種類は、別表 1 に記す。

入学

入学許可を受ける学生は、毎年合計 20 人であり、その内 10 人は DPD の証明書を得ていない学生である。

大学と SPE 施設の契約

大学と SPE を提供している施設の間で契約が結ばれる。この契約は、教育課程、

学生の必須項目、義務問題、その他の問題に対して、それぞれの役割や責任性を明確にしており、両者にとって重要である。常に両者の顧問弁護士がこれらの合意に両者のニーズが見合っているかなど、基本的テンプレートを修正することによって調整している。なぜならそれぞれの契約は異なり、サンプル契約はここに載せることができない、しかし、日本の教授や入学課などの人材が GSU に訪問すれば閲覧することができる。CADE は、必要な場合に契約をまとめて提示できることを必須条件としている。

学生への費用

修士課程の学生費用は、以下に記す。

1. 学費
 - 州内学生 12 単位以下の履修 = \$ 239/ 単位
 - 州内学生 12 単位以上の履修 = \$ 2,861/ 学期
 - 州外学生 12 単位以下の履修 = \$ 954/ 単位
 - 州外学生 12 単位以上の履修 = \$ 11,439/ 学期
2. 大学寮は、現在 1 学期 \$ 2100 ~ \$ 4400 でキャンパス外の住居もたくさんある。
3. 通学と駐車場
 - 費用は様々である。
 - 学生は、車と有効な運転免許証が必要である。
 - 多くの研修場所は公共交通機関で通えるが、いくつかの場所は交通機関が使えない。学生は、確実な交通手段を持っていること。都市の急行交通で利用できる 1 ヶ月のパスは、学生で \$ 32。
4. 教科書は、1 学期おおよそ \$ 150 ~ 300。
5. 制服は、おおよそ \$ 60

6. その他諸経費

- 出願費 \$ 50 (1 回分)
- ADA メンバーシップ (任意) 年間 \$ 42
- アトランタ栄養士会会費 (任意) 年間 \$ 10
- 健康保険 (授業料を全額免除されていない学生への任意加入) 秋学期 \$ 407、春夏学期 \$ 539
- 診断書やワクチンの義務は研修場所により様々
- 賠償責任保険 \$ 13

その他クライアントに作成した教育媒体などを 1 冊のファイルにしたもの。

教員、プリセプターの役割、責任、質について

教授、プリセプターの役割、責任、質は、すべてのプログラムに対して提供されている ADA の「RD のための専門業務基準」に基づいて示されている。これは、正規職員、パートタイムの教員でもプリセプターでも同じである。学生、教員、プリセプター、プログラムの評価方法は、それぞれの大学で決定される。一般的に学生は、SPE を通して教授やプリセプターによって評価される。学生はポートフォリオで自分の長所と短所、知識や技術の目標を評価する。アドバイザー、雇用者、以前の学生ではないグループにより、プログラムディレクターが大学院生の質を評価することを援助しており、その評価の結果を元にプログラムの変革を推奨している。継続学習は、全ての学生、教授、プリセプターの専門家としての責任である。

キャップストーン*¹：卒業論文に値する応用・実習経験のこと。研究論文、プロジェクトという研究課題に関する文献のまとめ、もしくは、ポートフォリオが選択肢としてある。

ポートフォリオ*²：インターンシップ中に作成したパワーポイントでの教育資料や

別表1. インターンシップの内容

No	時間数	ローテーション	研修施設のタイプ	インターンシップの内容及び説明
1	40	勉強会		オリエンテーション
2	360	臨床	<ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・在宅 ・長期療養施設 	
3	240	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療 ・公衆教育 	1. 公衆衛生ローテーションにおける在宅医療 2. 一般的な食物、栄養の地域教育
4	240	フードサービス		1. 臨床、地域施設でのフードサービスと管理経験
5	120	コミュニケーション		1. 学生の臨床、地域、管理研修を統合するための能力強化
6	120	強化	自由選択	学生の知識や技術を深めるため、どのローテーションでも学生の興味により選択できる
7	80 - 90	技術向上	エモリー大学 南部医療センター (Southern Regional Medical Center)	エモリー大学と南部医療センター (Southern Regional Medical Center) の栄養士インターンと合同する。毎週月曜日の朝4時間のセッションを24週、合計2週間分のセッションで専門家から学生に情報が提供される。題目は、栄養ケアプロセス、栄養評価、ライフサイクルにおける様々な疾患や状態に対する医療栄養療法、遺伝、保険支払いなどである。専門家は、内科医、心理学者、作業療法士、言語療法士、民族学者、牧師である。患者と家族は頻回に会に参加し学生に重要な影響を与え、疾患の予防や治療のための食事やライフスタイルの変容を必要とすることへのインパクトを与えている。これらの技術向上の時間は、学生が講義による知識蓄積型の学習に対して、知識の応用とケーススタディー、問答法によって教えられ、知識や技術の達成を援助する。

事例 ② The Johns Hopkins University ジョンズ・ホプキンス大学 (JH)

インタビュー協力者 Laura E Caulfield, PhD
Professor and Director
Center for Human Nutrition
Department of International Health
Sarah Post MS, RD, LDN, CNSD
Director, Clinical Nutrition
Director, Dietetic Education Programs

報告者 Charlette Gallagher-Allred, PhD, RD, LD
International Nutrition and Healthcare Consultant

Johns Hopkins 大学は、米国東海岸のメリーランド州のバルティモア市に位置している。バルティモア市は、米国植民地時代初期から合衆国設立にかけて、歴史的に有名な主要都市である。バルティモア市は、米国の中での「先駆者の都市」として知られる。「先駆者」としての多くが食糧、栄養と公衆衛生に関係しており、例として以下が挙げられる。

- 1792年 米国で水道会社の創業
- 1796年 米国で砂糖精製法の確立
- 1803年 電気冷蔵庫の発明
- 1815年 銀食器 (スプーン、ナイフ、フォーク) 業の創業
- 1848年 アイスクリーム冷凍庫の特許を取得
- 1879年 Johns Hopkins 大学での合成甘味料のサッカリンの開発
- 1920年 鋼鉄工場の創業

Johns Hopkins 大学

Johns Hopkins 大学は 1876 年に設立さ

れた。大学の理念は、「生涯学習の一環として、学生らの能力を育成するための教育と独創的な調査研究を奨励し、世界にその発見の意義を提唱すること」とある。

Johns Hopkins Bloomberg 公衆衛生学部
世界的にいう公衆衛生の精神とは、
一対一時を変えることなく、
全ての人の病気を予防することである。

Johns Hopkins Bloomberg 公衆衛生学部は、Johns Hopkins 大学に属し、学部として公衆衛生の分野では世界ではじめて設立された。よって Bloomberg 学部は、最も歴史ある公衆衛生学部として、公衆衛生分野に国際的な権威を持ち、人々の健康と命を救うために貢献している。学部の理念は、Johns Hopkins 大学と一貫しており、新しい研究を開拓し、その分野における知識や専門技能を有効活用し、科学者や実践者に教育することで、世界全体で、人々の生命を疾病や傷害から予防することを目指して

いる。よって学部のスローガンは…

**「Protecting Health Saving Lives-
Millions at a Time**

(健康を保持し、生命を守る—
一度に何百万人を対象に)

当学部は、元来、Johns Hopkins 公衆衛生衛生学部と命名され、1916年に William H. Welch と John D. Rockefeller により設立され、世界で最も大きな公衆衛生学部であり、530人の常勤と620人の非常勤の大学教授陣、84カ国から2,030人の学生が集まっている。米国にある公衆衛生学部39校のうち、中央政府からの研究資金のおよそ20%を受け取っており、現在行われている研究は、米国を含め90以上の国々にも及んでいる。U.S. News & World Reportによる公衆衛生学部のランクでは、常に首位を保持している。そして、学部の名前は、経済的援助をさしのべた Michael Bloomberg 氏を記念し、公衆衛生と Johns Hopkins 大学とをあわせて、2001年4月20日に「Johns Hopkins Bloomberg 公衆衛生学部」と改名された。Michael Bloomberg 氏は現ニューヨーク市長である。

多分野にわたる教授陣のもとで、多分野のテーマにおいて、多分野で修練を積むことは、公衆衛生教育の真髄といえる。

学部では、公衆衛生教育を進めていく上で、以下を5本柱とし、その教育プログラムにはすべて学術的な学習課題と実習とが用意されている。

1. 生物科学 (Biological Sciences)
2. 社会、文化的科学 (Social and cultural sciences)

3. 量的技能 (quantification skills)
4. 環境保健 (Environmental Health)
5. 管理 (Management)

その他、学部で提供されるコミュニケーション、批判的に捉える考察力、研究、公共政策についての科目は、この5本柱をサポートし、登録栄養士教育プログラムに欠くことができない。栄養士教育の基礎となる栄養科学は、5本柱のひとつである生物科学に含まれている。

人間栄養学を目指す Johns Hopkins センター

人間栄養学を目指す Johns Hopkins センターは、公衆衛生学部の国際保健科に属している。Johns Hopkins センターは、Johns Hopkins の全てのプログラムにおいて、栄養に関する研究と研修に対する強化機構として1990年に設立された。このセンターは現在およそ50人の教授陣を配し、小人数のグループによる発展途上国の小児の栄養不良に焦点をあてた研究から、国際的レベルの肥満、癌、慢性疾患に関連した栄養的な多くの側面を調査している多分野に渡る人員の大規模なグループの研究まで行われている。

人間栄養学を目指す Johns Hopkins センターは、Hopkins 大学の栄養教育に対し大きな影響力を持つだけでなく、栄養に関する研究と研修において全世界のリーダー的な存在として認められている。

このセンターは、近年発展とともに公衆衛生学の修士課程と保健科学の修士課程との2つの課程が再構成し、学生やRDに対し、公衆衛生栄養 (Public Health Nutrition) の教育と研修を受けられる機会を与えている。

Johns Hopkins の栄養に関する2つの教育課程では、全米だけでなく全世界で公衆衛生栄養における業務が効果的に遂行できるように、修士レベルの専門家を教育している。

公衆衛生学修士と栄養士インターンシップ

Johns Hopkins Bloomberg 公衆衛生学部が Johns Hopkins Bayview 医療センターで実施する CADE が承認する栄養士のインターンシップにおいて、学生は公衆衛生学修士 (MPH) と RD 資格の両方を取得できる。11 ヶ月間の MPH 課程に先行して10 ヶ月間のインターンシップを修了させ、臨床栄養と公衆衛生栄養の両方の実習が受けられるユニークな研修プログラムである。そして、彼らは (公衆衛生栄養と RD プログラムの) 両方のプログラムに志願し合格しなくてはならない。

学生は、先にインターンシップを修了させ、その年を MPH 課程の入学規定にある保健学に関連した実務経験2年にカウントすることができる。インターンは、Baltimore 地域熱傷センター、Johns Hopkins 体重管理センター、臨床研究センター、Johns Hopkins 小児センターで実施し、臨床に関するローテーションを修了する。さらに、地域栄養に関するローテーションは、米国農業省、WIC プログラム (母子プログラム)、Maryland 州保健省で行われる。MPH 課程になると、公衆衛生栄養または、他の学科の科目のどちらに重きを置くかを選び、もしくは、MPH のプログラムを自分の希望に合わせて組み合わせることができる。学生各々が、MPH 研修の最後の仕上げとして、自身の臨床経験や関心のある分野 (例えば肥満、糖尿病予防、食品安全や人道的活動の補助、研究方法、臨床疫学など) に基づいて組み立てた「予防」プログラムに専念できると考えられる。

保健科学修士と RD プログラム (MHS/RD)

Johns Hopkins の保健科学修士と RD (The Johns Hopkins Master of Health Science/Registered Dietitian: MHS/RD) プログラムは、Johns Hopkins Bloomberg 公衆衛生学部と Johns Hopkins Bayview 医療センターでの栄養士教育 (養成) プログラム (Dietetic Education Program) と共通している。18 ヶ月間に及ぶ集中教育は、大学院レベルの公衆衛生栄養に特化したプログラムである。実習型のローテーション研修では、栄養士の実務レベルに対して実践能力の必要条件を満たすことと、RD のための栄養士登録試験 (the Commission on Dietetic Registration Exam) を受けるための修了証明の核となる知識を教育している。このプログラム全行程の受け入れは、年に最高8人の学生まで可能である。Johns Hopkins 大学は、米国における公衆衛生分野では、栄養士の実習には特にフードサービスとフードサービスシステムが必要であることを認識した。社会科学や生物学など栄養学以外の経歴をもつ学生でも、全米または国際的な公衆衛生問題に取り組むチームの中で栄養に関する仕事を効果的にこなしている。肥満予防や慢性疾患予防は、重要な世界的課題であり、これらは大学院生によって取り組まれている。

18 ヶ月の MHS/RD プログラムは、10 ヶ月の大学院での受講に続き32週間の研修 (practicum) で修了となる。集中型フルタイムプログラムの講義は、週末を除く朝の9時から夕方5時まで行われる。講義の初期の段階では主に定性分析が強化され、定性・定量分析の両方の方法論を訓練される。学生は、様々な質的評価の方法を教えられる。バルティモアと Johns Hopkins 双方とも、研究のための多くの組

織と多くの優秀な教授陣を兼ね備えた環境を誇りとしており、学生は、社会サービスの質的研究または生物学の量的研究のどちらかを選び、その結果を発表する機会を与えられる。

批判的に捉える考察力は学生の成功にとって必須である。

MHS/RD プログラムの目標は、公衆衛生栄養分野において栄養学の研修を大学院レベルまで強化されていることと、また、(科学を評価するために必要な) 批判的な考察技能および(地域レベルへ科学を応用し強化するために必要な) 疫学技術を伸ばすことである。MHS/RD プログラムの目的は、Johns Hopkins 大学やその公衆衛生学科、および Johns Hopkins Bayview 医療センターを設立した目的から来ている。

- 学生に均一な栄養士教育プログラムが提供されること
- 優秀で多くの専門分野にまたがったチームによって、栄養学と食物栄養学の分野において極めて質の高い研修が提供されること
- 学生が、栄養士としてのリーダーシップ技術を伸ばすことができること
- 証明された理論を応用でき、そして現在の研究を評価でき、さらに他の保健専門家や同僚、専門家以外の人々と効果的にコミュニケーションをとれる栄養専門家に育つよう推進すること

栄養士研修過程 (Dietetics Practicum)

MHS の講義終了に続き、学生は、栄養士研修 (practicum) 過程に進む。この研修課程で学生は、10 週間の公衆衛生栄養ローテーションと同様、臨床栄養、フードサービス、地域栄養の分野のローテーシ

ンを行う。ローテーションの内容は、以下に記す。

- オリエンテーション (2 週間)
- 臨床・地域栄養 (14 週間)；総合内科、神経内科、心臓科、外科、外来、体重管理、糖尿病、亜急性・長期療養ケア、小児科、HIV/AIDS 科、静脈栄養、集中治療、移動祝祭日 (moveable feast)、高齢者ケア包括プログラム PACE (All-Inclusive Care for the Elderly: PACE)、母子栄養ケアプログラム (Women, Infant and Children: WIC)^{*1}、疾病患者食デリバリーサービス (フーズ&フレンズ)^{*1}、マネジメント
- フードサービス (4 週間)；給食事務室 (diet Office)、配膳、食堂、生産と発注、ケータリング、カフェテリア、小売
- 公衆衛生 (10 週間)
- 休暇 (2 週間)；Thanksgiving (感謝祭の日)、冬季休暇

臨床と地域での研修は、学術的な講義を通して得た公衆衛生理論の応用のために重要である

大学院レベルに強化された栄養士教育プログラムにおける研修の多くは、Johns Hopkins Bayview 医療センターで行われるほか、Johns Hopkins 病院と都市近郊の複数の施設でインターンシップが行われる。学生の中には、バージニアやワシントン DC などの近隣地域で公衆衛生の研修をする者もいる。

Johns Hopkins 病院

法律上は別の共同体であるが、大学と提携しているおり、U.S. News and World Report が行っている全米病院部門ランキングで 18 年間首位を保っている。また、医療研究の分野でも 2007 年に全米首位に

ランキングされた。

Johns Hopkins Bayview 医療センター

Johns Hopkins ヘルスシステム (the Johns Hopkins Health System) の 5 つある施設のうちのひとつであり、卓越したサービスと医療が有名で長い歴史を誇る。東海岸で最も古い健康管理施設のひとつであり、所有権は 1984 年にバルティモア市から Johns Hopkins 病院と Johns Hopkins 大学へ移された。当医療センターは、幅広いサービスを提供しており、州全体にある外傷センター、新生児集中治療センター、州の地域熱傷センターと国内で有名な老年医学センターがある。また、地域の教育病院として、Johns Hopkins Bayview 医療センター内科医のほとんどが、Johns Hopkins 大学医学部の常勤教授である。

Johns Hopkins Bayview 医療センターの臨床栄養学部

Johns Hopkins Bayview 医療センターにおける臨床栄養部は、センター内の全てのエリアに栄養サービスを提供している。仕事は、急性期、集中治療、栄養サポート、外来相談、糖尿病など様々な分野に及ぶ。包括的な栄養評価、介入と教育を Johns Hopkins Bayview 医療センターの入院患者と家族、外来患者に提供している。栄養士は、様々な分野の専門職と連携して患者に最適なケアを提供している。

臨床栄養部の臨床スタッフは、ADA、メリーランド栄養士会、多くの他の専門職種組織の会員である RD、認定栄養士 (Licensed dietitian) で構成されている。その多くが糖尿病教育や栄養サポートの分野で高いレベルの免許を持っている。

(Johns Hopkins Bayview 医療センターの) 臨床栄養部の理念は、日本の病院

栄養部門にも適用されるに値する。

臨床栄養部の理念は、

- 最適な患者ケアのために、多職種でアプローチし、個別の栄養療法を推進すること
- 急性期、慢性期疾患にしばしば伴う低栄養を予防し、また陥った場合でも低栄養状態を最小限におさえること
- 様々な患者ケアにおいて、効果的な栄養教育を患者とその家族に提供すること
- 最適な患者ケアの提供に貢献する優秀な RD をサポートすること
- Hopkins の理念に同調して、JHHS (Johns Hopkins Health System) の一環として教育、研究に対しサポート機能を果たすこと
- 栄養状態全ての局面において継続した教育を提供すること
- 従業員スタッフは Johns Hopkins Bayview の財産となって務めること

質的な方法論に沿って資料やプログラムの評価を行うことは、学生の学習や地域の研修に必須項目である。

公衆衛生ローテーションの一環で、学生は RD と共にメリーランド州の健康増進活動を頻繁に行う。学生らは、食事評価の方法や公衆衛生栄養プログラムの評価の方法を応用し、ケアに対する障害を評価するための調査計画をすることもある。ケアに対する質問事項の例は、「なぜ親は応募要項を満たしている子供にも関わらず学校の朝食プログラムに申し込まないのか」もしくは、「WIC (母子プログラム) へアクセスすることの弊害になっているものは何か」などである。修士を修了させるために、学生は、監督下の研修について論文を書く。

多くの学生は、人間栄養センターでの博士号の取得を目指すので、ここでは量的な研究や論文は書かない。

卒業生は、地域、大学、行政、または世界にまたがる多くの様々な組織で、研究や政策において学術的な活動をしている。

このプログラムに関わるスタッフや教授陣とプリセプターらには、学生を公衆衛生や栄養の優秀な専門家になれるよう導く責任がある。6人が保健科学の修士課程とRDプログラムを修了し、現在4人の学生が在学しており、また2009年の秋には8人の学生が入学してくる予定である。RD試験の合格率のデータは現在ないが、このプログラムの修了率は、2007年から100%を維持している。

卒業生の公衆衛生分野に関する研究と貢献は、顕著である。卒業生は、地域保健プログラム、大学、米国政府、世界にまたがる多くの分野の組織に就職し、研究や政策において学術的な活動をしている。最近MHS/RDプログラムを修了した卒業生が貢献した地域公衆衛生プログラムには、卒業制作として携わった、メリーランド州の学外協力教育プログラム（the State of Maryland Cooperative Extension Program）がある。この学生の場合は、栄養学の科学的（思考）研修でもある公衆衛生課程を3年目と4年目に組み込んでいる。

もう一人の卒業生は、（バージニア州の主要な企業である）Northrop Grummanでウェルネスプログラムの開発の仕事に従事した。Northrop Grummanは、職員のために肥満予防管理プログラム開発により、職員の就労不能予防とその結果として健康保険費用の削減を期待していた。この

学生は、屋内で行うことができる健康ライフスタイルプログラムを開発し、職員の動機付けに寄与できるかを評価した。

他の2人の卒業生の仕事は、メリーランド州の保健精神衛生部と協力して行ったもので、栄養と慢性疾患（特に肥満、糖尿病、脳卒中）の予防との重要性に焦点をあてたものであり、公衆衛生福祉フェアで使用されている肥満予防の道具を開発しその効果を評価した。

Johns Hopkins での研修制度を日本へ適用することは、理想的でもあり可能でもある。

日本の厚生労働省は、(1)健康維持と慢性疾患の予防、(2)効率的な栄養ケア・マネジメントを提供して国民の健康状態を向上させることを求めている。公衆衛生プログラムとサービスはこの2つの目的をサポートするものである。Johns Hopkinsの優秀な栄養士と公衆衛生教育プログラムや優秀な教授陣は、日本のヘルスケアの目的達成のために、日本の学生や教授陣に対してプログラムの開発、実行、評価、改正について教育できる。

国内学生と留学生とが混在する Johns Hopkins では、様々な経験と豊かな知的環境が整っている。

Johns Hopkins 大学は、公衆衛生学部にも世界中から入学生が集まっている。議論や実習を通して異なった専門性や将来性をもたらす。大学は、多くの留学生が地域の会合へ参加し、社交的活動や専門的組織を持つことを誇りとしている。言語の違いによる障害はしばしばみられるものの、学生の平均年齢は30～31歳で、内科医、看護婦、弁護士、ソーシャルワーカー、心理

学者、宗教的リーダー、薬剤師、栄養士など様々な経歴を持つ学生が 84 カ国から集まっている。

現在、日本からの留学生が 1 人在籍しており、MHS の栄養学位コースで勉強している。

Johns Hopkins の修士課程で学ぶ日本人学生がもっとたくさんいれば、日本のヘルスケアに対する努力に寄与することができるだろう。栄養士プログラムのディレクターは、学問面と実務面の両面から監督し、日本の栄養士教育プログラムに対して援助することを希望している。

PACE とは、個々の自立、選択、尊厳を推進する革新的なプログラムである。

MHS/RD プログラムの栄養士課程における監督下で行われる研修の中に、PACE (the Program for All-Inclusive Care for the Elderly) というものがある。PACE は、高齢者やその家族にとって、長期ケアが必要になった際、可能な限り地域で提供されることがより好ましいという考えを核に置いたケアのモデルである。PACE の目的は、高齢者を地域で在宅療養できるようにすることである。サービスには、内科、リハビリテーション、歯科、眼科、栄養相談が含まれ、目的を達成しやすいようにサービスが提供される。PACE での活動は、対象の高齢者に対し 1 日に 1～2 回の食事サービスを通して、活力が出て心と身体の健康を維持できるような刺激となるサービスを提供している。それぞれの PACE の支部には RD が配置されており、公衆衛生学部生は RD とともに参加した高齢者に関わるようになる。このプログラムの監督下で行われる研修は適切なものだと考えられる。また、このプログラムにおける、教授陣、学生、

参加者からのフィードバックは良好である。評価方法論では、PACE プログラムでのヘルスケアコストの削減、参加者の満足度の向上という結果を反映している。

PACE プログラムは、日本において高齢者が健康に在宅療養を達成するための効果的な武器になる。

Johns Hopkins 病院敷地外近郊 (Bayview 医療センターから 4.8km 離れた場所) にある Bayview 高齢者保健センターと Claude Pepper Bayview 高齢化センターは、aging-in-place を機能させるための高齢化と公衆衛生プログラムについて教育や研究ができる場所である。両センターは、疾患、障害の予防や健康増進、高齢者福祉の促進についての研究に貢献している。また、国際的な研究のサポートや次世代の研究リーダーの育成に努めている。このリーダーは、高齢者集団に対する予防や健康増進、さらに効果的な治療における重要な発見に欠かせない存在である。そして、これらの結果を実践に生かし、高齢者の健康状態を改善する上できわめて重要な役割を果たすことになる。多くの高齢者患者サービスに関する情報は、Johns Hopkins Bayview ケアセンター <http://www.hopkinsbayview.org/carecenter/index.html> を参照のこと。

これらのプログラムと施設は、日本がヘルスケアの目的を達成し、国民の健康を向上させることに成功するように援助することができる。

¹: WIC (ウィック) は低栄養のリスクが高い妊婦・授乳婦・乳幼児に食料や検診などのサービスと引き換えに栄養教育を行うプログラムであり、フーズ&フレンズも AIDS、癌などの低栄養を招く疾患を持つ患者へのサービスである。

資料 Master of Health Science Human Nutrition Program Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health Baltimore, Maryland

保健科学修士課程 人間栄養学プログラム ジョーンズ・ホプキンス
ブルームバーグ公衆衛生学部 メリーランド州 バルティモア

入学資格

このプログラムは、経歴に関係なく優秀で最高レベルの学生を求めている。それゆえに、人間栄養プログラムの MHS (the Master of Health Science) へ入学するには、できれば最低でも栄養学、生物学、保健科学、社会科学、公衆衛生分野での学士取得かそれと同等の学位を取得していることが求められる。

教育目的

人間栄養学の MHS プログラムは、人類の食物と栄養に関する公衆衛生問題に焦点を当て、その専門家を育成トレーニングするために構成されている。卒業生は、卒後、栄養学、食物プログラム管理、実験分析、経営、政府機関の調査モニタリングや評価、国際的、非政府機関、大学、個人経営産業、食物と栄養素に関する公衆衛生の研究、プログラム、政策に関連した仕事に就くことが期待されている。多くの学生は、博士号への研究を続け、医学博士か学術博士号を取得する。

プログラム開始への資格

最低 96 単位を修了することが条件である。64 単位は直接講義科目に関連した単位であり、32 単位は通常 2 年目に履修する実習に関連した単位である。

学生は、特別な能力を磨くために、4 つの核となる分野において、特定の科目を履修することが義務付けられている。それは、「栄養と健康」「生化学と代謝」「研究方法」「専門的技能」の 4 つである。MHS の学生全員が、この 4 分野にわたる共通科目 40 単位は必須になる。これに加えて、すべての学生は、社会学もしくは行動科学、プログラム管理、環境保健の講義を履修しなければならない。学生は、必須科目以外に選択科目として、キャリア目的に合わせ、自分のアドバイザー（の研究）に関連した特別学習講義を選ぶことになる。

栄養学 研修課程

MHS 候補生は、2 期の研修課程を修了する。この研修課程は、必要に応じて学生本人と人間栄養センターまたは学部内の学術アドバイザー（教授）と他の教授によって変更される。この研修課程は、以下の項目で構成される。(a) 監督下でおこなう栄養に関する研究（実験、臨床または集団に関する）またはプログラムの設定のための実習 (b) 教授の指導の下で、栄養に関連したデータ（実験または集団に関する研究、プログラムに関する評価または監視）の分析作業とレポート作成を行うこと (c) MHS プログラムの範囲内で、専門分野の向上に直結するために追加されたコース。

MHS/RD 研修課程は、Johns Hopkins Bayview (JHB) 医療センターでの食事栄養プログラムと共通しており、学生に MHS の学位と RD の証明取得のための両方の機会を提供

している。統合されたプログラムは、ADA の CADE によって仮の認可を得ている。

ADA 120 South Riverside Plaza, Suite 2000, Chicago, Illinois 60606-6995, 1-800-877-1600, ext. 5400.

この選択を受け入れた学生は、2009年6月から2010年1月まで、通しで研修課程の席を確保するために2009年3月1日までに500ドルの頭金の支払いが義務付けられている。<http://www.hopkinsbayview.org/nutrition/MHS/index.html>

(最初の1/4の授業料支払いと共に) 残りの7500ドルの臨床実習費は、2009年の9月1日が支払い期限である。

RD 研究プログラムの学生も MHS 学生と同様、MHS 論文を修了させなければならない。

人間栄養学コース入学資格

全ての必須科目は、合格/不合格だけを与えられる科目を除き、成績を取得しなければいけない。

必須講義

講義番号	講義名	学期	学期ごとの単位数
一般的な専門技術			
222.840	特別学問と研究 HN: 教育プログラムの展開	1 - 4	1
222.860	大学院栄養セミナー	1 - 4	1
	オンライン学習入門		
(http://distance.jhsph.edu/io)			
研修課程 (2年目に最低32単位の取得)			
222.810	実習記録 人間栄養学 (研修課程)	1 - 4	32 - 64
栄養学			
222.641	人間栄養学理論	1	4
222.658	栄養学における批判的思考 Critical Thinking (科学評価) I	1	1
222.642	栄養状態評価	2	3
222.843	特別科目: 生化学と代謝	2	3
222.655	栄養とライフステージ	3	3
222.654	食物、文化と栄養	4	4
以下から1科目選択			
222.651	上級栄養代謝学	1	3
222.XXX	食物、技術と健康	2	3
222.649	国際栄養学	4	3
222.656	人気のあるダイエット食の批判的分析	4	3
222.652	疾患治療と予防における栄養学	4	3
研究方法			
合計16単位になるように以下から1連の講義を履修する。			
140.621 - 4	公衆衛生における統計学方法 I - IV	1 - 4	4
140.651 - 4	生物統計学における方法 I - IV	1 - 4	4
疫学、以下のうちから1科目選択する。			
340.751 - 3	疫学方法 1 - 3	1 - 3	5
340.601	疫学理論	1	5
環境科学:			
以下から一科目選択する。: 必須科目ではなく、選択科目として数えられる。			

講義番号	講義名	学期	学期ごとの単位数
187.610	公衆衛生 毒物学 2	1	4
180.601.81	環境保健 (オンラインのみ)	3	5
182.626	亜熱帯環境保健	3	2
180.660	環境保健の理論入門	3	3
182.640	食物と水系感染症	3	3
180.611	世界環境と公衆衛生	1	4
マネジメント科学： 以下のうち1科目を選択すること。 これは、必須科目のためでなく選択科目にあてられる。			
551.601	保健サービス組織の管理学 3	1	4
551.603	予算と財源管理の基盤 3	2	3
182.623	職業安全と保健管理	3	3
221.706-7.81	発展途上国における健康システム管理 I - II (オンラインのみ)	3 - 4	2 - 3
305.607	実践公衆衛生 4	2	4

注：MHS/RD 選択の学生は、次の科目は必須となる。i) 260.600 (2009年の初めの学期の前に開講された) 入門生物医学、ii) 222.652 疾患治療と予防における栄養、iii) 222. XXX 食物、技術と健康 iv) 182.640 環境保健 (分野) の必須科目として、食物と水系感染症 v) 551.603 マネジメント科学の必須科目として、予算と財源管理の基盤

推奨された選択科目 (18 ~ 23 単位)

講義番号	講義名	学期	学期ごとの単位数
栄養学			
222.657	食物と栄養 政策	1	2
222.647	栄養 疫学	3	3
221.611	人道活動の緊急事態における食物 / 栄養と生計	4	2
340.644	糖尿病と肥満疫学入門	4	2
研究方法			
340.608.81	観察疫学* Observational Epidemiology 3 (オンラインのみ)	3	4
223.664	地域試験の計画と施行	4	4
224.689	個人、家庭、地域レベルでの健康的行動変容	2	4
410.690	民族誌学野外研究	3	4
224.691	質的データ分析	4	4
国際保健と疾患			
220.601	国際保健入門 4	1	4
221.627	発展途上国における母子死亡率削減における問題	2	4
223.663	感染症と小児生存率	3	3
223.680	世界的疾患管理プログラムと政策	4	4
集団、行動と健康			
380.604	人生設計と健康観 (Life Course Perspectives on Health 1	1	4

講義番号	講義名	学期	学期ごとの単位数
380.600	人口変化理論 2	2	4
224.689	個人、家庭、地域レベルでの健康行動変容	2	4
380.611	プログラム評価の基盤	3	4

- 1 この講義は、1 学期目にオンラインコースとしても提供されている。
- 2 この講義は、2 学期目にオンラインコースとしても提供されている。
- 3 この講義は、3 学期目にオンラインコースとしても提供されている。
- 4 この講義は、4 学期目にオンラインコースとしても提供されている。

プログラムに関する力量

人間栄養学科には、4つのプログラムに関して力量が求められる。

1. 公衆衛生栄養問題の知識を論証し、測定可能な指標を用いてそれらの問題の特徴づける。
2. 関連したデータの分析と統合によって、公衆衛生の栄養問題が重要であることを明確にし、その予防策について計画、実行、調整、評価する。
3. 試験の計画、管理、モニタリング、データ収集と分析を通して、発案の概念をその分野の研究において評価し関連づける。
4. 研究やプログラムの結果についてレポートを作成する。

プログラムに関する力量 #1 公衆衛生栄養問題の知識を論証し、測定可能な要因を用いてそれらの問題の特徴づける

具体的な力量	学習項目	評価方法
公衆衛生で栄養問題が重要であることを説明する、栄養問題の疫学、代謝、健康への影響、予防と治療について国民的レベルの戦略を説明する	222.641 人間栄養学理論 222.649 国際栄養学 222.840 生化学と代謝 222.654 食物、文化と栄養学 222.655 栄養とライフステージ 222.860 大学院栄養セミナー	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文
最も重要な栄養状態の尺度を定義する。その相関的な強みと弱み、測定技術と情報源を定義する。集団においてどのような要因の変化がその栄養状態に反映するのかを説明する。	222.642 栄養状態評価 222.647 栄養疫学 222.651 上級栄養疫学	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文
様々な集団において、栄養と健康の改善のためのプログラムの計画と実行について論評する	222.641 人間栄養学理論 222.649 国際栄養学 222.654 食物、文化と栄養学 222.657 食物と栄養 政策 222.656 人気のあるダイエットとダイエットサプリメントの批判的検討 222.860 大学院栄養セミナー 222.658 栄養における批判的思考－1	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文

具体的な力量	学習項目	評価方法
発展途上国でのヘルスシステムやヘルスサービスの管理プログラムを評価し説明する。	182.623 職業安全と健康管理 221.706-7 発展途上国での健康システムの管理 I-II 221.722 発展途上国における質的保証管理方法 305.607 公衆衛生実務 551.601 ヘルスサービス、組織管理 551.603 予算案と財政管理の基盤	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文
主な環境保健問題を指摘し、それらの問題がどのように集団の栄養や健康状態に影響するか説明する。	180.601 環境保健 180.601 環境保健 180.611 世界環境と公衆衛生 180.660 環境保健理論入門 182.626 亜熱帯環境保健 182.640 食物と水系感染症 187.610 毒物学理論	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文

5. プログラムに関する力量 # 2 関連したデータの分析と統合によって、公衆衛生の栄養問題が重要であることを明確にし、その予防策について計画、実行、調整、評価する。

具体的な力量	学習項目	評価方法
十分なサービスを受けていない集団の公衆衛生上重要な主な栄養問題を指摘する。	222.641 人間栄養学理論 222.649 国際栄養学 222.655 栄養学とライフステージ 222.860 大学院栄養セミナー	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文 ポスター発表
公衆衛生の重要な栄養問題について何が現在知られているのか、復習しまとめる。	222.641 人間栄養学理論 222.649 国際栄養学 222.654 食物、文化と栄養学 222.655 栄養学とライフステージ 222.860 大学院栄養セミナー	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文 ポスター発表
公衆衛生の疫学的問題に関連するデータ元の指摘をする	222.647 栄養疫学 340.601 疫学理論	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文
データを使用して、公衆衛生問題の重要性を評価する	140.621-4 公衆衛生の統計方法 I-IV 140.651-4 生物統計の方法 I-IV 340.601 疫学理論	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文
生物学的、文化的、行動学的内容における問題を提案する。	222.641 人間栄養学理論 222.649 国際栄養学 222.654 食物、文化と栄養学 222.655 栄養学とライフステージ 222.860 大学院栄養セミナー	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文 ポスター発表
重要な公衆衛生問題の予防計画の展開に協力する。	222.649 国際栄養学 222.654 食物、文化と栄養学 222.810 人間栄養学実地研修	講義 / 試験 筆記試験 修士課程小論文 ポスター発表

プログラムに関する力量 #3. 試験の計画、管理、モニタリング、データ収集と分析を通して、発案の概念をその分野の研究において評価し関連づける

具体的な力量	学習項目	評価方法
関心のある課題に対して適切に文献検索をする	222.655 栄養学とライフステージ 222.810 人間栄養学実地研修 222.860 大学院栄養セミナー 222.658 栄養学批判的思考 (科学評価) -I MHS エッセー	筆記試験 実地研修 修士課程小論文
研究論文のマネジメント、経過のモニタリングと集積したデータの質の保証に協力する	222.810 人間栄養学実地研修	講義 / 試験 実地研修 修士課程小論文
研究中に収集したデータを統計学的に分析し、その結果を理論的解釈によって提示する	140.621-4 公衆衛生統計方法 I-IV 140.651-4 生物統計学の方法 I-IV 222.810 人間栄養学の実地研修、MHS 小論文	講義 / 試験 筆記試験 実地研修 修士課程小論文

プログラムに関する力量 #4 研究やプログラムの結果についてレポートを作成する。

具体的な力量	学習項目	評価方法
研究かつ/またはプログラムの結果をレポートにする。	222.810 人間栄養学の実地研修	
修士課程小論文	講義 / 試験	
筆記試験		
実地研修		
修士課程小論文		

一般情報、国際保健 MHS 過程の入学資格、個人プログラム、学生情報や力量を含めて、保健科学修士取得についての全プログラムの詳細は、学術ガイドのウェブサイト <http://www.jhsph.edu/dept/IH/degrees/mhs/index.html> にある。ウェブページの右端にある Academic Guide のリンクを選択する。

Johns Hopkins Bayview 医療センターにおける RD 証明に関する監督下の研修ローテーションの情報は、<http://www.hopkinsbayview.org/nutrition/MHS/> に詳細がある。Program Details のリンクを選択してください。特に 10 週間の公衆衛生のローテーション以外は、それぞれ 1 週間(40 時間)のローテーションである。外来のようなプリセプターが複数いるローテーションを除き、一般的には、1つのローテーションに 1名のプリセプターがいる。臨床のプリセプターは全員、食事サービスのプリセプターは何名かが RD である。公衆衛生のプリセプターはその分野で適切な登録、承認された者である。

Observational Epidemiology * — 観察疫学

事例 ③ **Kansas State University** **カンザス州立大学 (KSU)**

インタビュー協力者 Deborah D. Canter, PhD, RD, LD
Head, Department of Hospitality Management and
Dietetics
Carol Shanklin, PhD, RD, LD
Dean of Graduate School
報告者 Charlette Gallagher-Allred, PhD, RD, LD
International Nutrition and Healthcare Consultant

アメリカ合衆国のフードサービス、栄養管理で疑問が発生したときは、専門家は KSU の教授陣とプログラムに答えを求める。

カンザス州立大学 (KSU : Kansas State University) は、カンザス州マンハッタン市にある。カンザス州は、アメリカの心臓部となる中央に位置しており、地形が平坦なためアメリカ合衆国に多くの穀物を供給しており、正に心臓部となる働きをしている。州の人々は、家族主義で、サービス精神があり人種や経歴の違いにかかわらず全ての人々に最善を尽くしたいと考えている。そして教育された人々は、KSU の財産であり、アメリカでの活躍が今後も期待されている。

KSU の栄養士プログラムは、栄養士の専門家と同等の古い歴史を持っている。KSU は、1900 年初期に栄養士プログラムを発展させ、何度か名称を変更を行い、多くのプログラムを盛り込み現在に至っている。2008 年の夏より栄養士フードサービスマネジメント学部は、ホスピタリティマ

ネジメントと栄養学部に変更した。

ホスピタリティマネジメントと栄養学部

KSU は栄養士に CADE から認可を受けている 2 つの学部を用意している。1 つは、4 年制大学における DPD であり、キャンパス内の従来の講義とは異なる講義。2 つめの経歴 (転職) として栄養士を選んだ 4 年制大学 CP があり、これは、コンピュータでのオンライン講義である。また、学部は栄養士の修士課程を新たに設けた。もし栄養士インターンシップが大学院にある場合、監督された研修部分のプログラムは、CADE によって認可されているものではあるが、学術的には大学院のプログラムには含まれない。

DPD プログラムのコースは 2 部門あり、(1) ホスピタリティマネジメントと栄養士 (HMD) のプログラム管理とフードサービスを教育するコースと (2) 人間栄養学科における食物科学と栄養学のコースである。DPD の大学院生は、栄養士インターンシップに申し込むためには、CADE に必須とされている知識の習得をしたという